

米国の日本産食品に対する放射性物質規制の撤廃

- 米国の輸入規制については、本年も、3月に野上農林水産大臣からビルサック農務長官に、4月に菅総理大臣からバイデン大統領に撤廃を働きかけるなど、これまでも政府一体となって累次にわたる撤廃の働きかけを実施
- その結果、9月22日(水)に、米国食品医薬品局(FDA)が、**規制の撤廃を発表**
- これにより、**輸入規制を設けている国・地域**の数は、**事故後の55から14まで減少**

<米国の輸入規制>

市町村・区域で出荷制限措置が取られている品目（福島県等14県）について、**米国は県単位で輸入を規制**

※主な輸入停止品目：福島県産米、原木シイタケ



9月22日(水)に輸入規制を撤廃

<輸入規制の状況（撤廃後）>

輸入規制を撤廃 (40 41)		カナダ等38か国(2011~2020)、イスラエル、シンガポール、 米国 (2021)
事故後の輸入規制を継続 (15 14)	検査証明書等を要求 (9)	EU及び英国、EFTA(アイスランド、ノルウェー、スイス、リヒテンシュタイン)、仏領ポリネシア、インドネシア、ロシア
	一部都県等から輸入停止 (6 5)	韓国、中国、香港、マカオ、台湾、 米国

<2020年米国向け農林水産物・食品の輸出額>

○総額：**1.188億円**(世界3位)(対前年比▲4.0%)

[農産物909億円(76.5%)、林産物41億円(3.4%)、水産物238億円(20.1%)]

○主な輸出品目

1位：日本酒、ウイスキー等(138億円)

2位：ぶり(96億円)

3位：緑茶(84億円)